



ゴードン R. マッキナリー
2023-2024年度 R I 会長



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840
TAKASAKI SYMPHONY ROTARY CLUB
Symphony Weekly



No. 8

グローバル補助金奨学生 中村 翔陽さん



米山奨学生 張 燕妮さん

会長/President 小野垣 義 男
幹事/Secretary 西 野 宏
クラブ会報委員長/Committee Man of Weekly Report 福 島 早 人
第 3 週 2023年9月22日 (金)
例 会 毎週金曜日
 点 鐘 12時30分
例 会 場 マリエール高崎
事務所/Office

高崎市本町144-1 光明第7ビル202号室
 T E L 027-328-3371
 F A X 027-328-3372
<http://www.takasakisymphony-rc.org>
 E-mail:sym@po.wind.ne.jp

事務局員/Office worker 浅見 洋子
本日のプログラム

ゲスト卓話 本田博己パストガバナー
 ロータリーソング 手に手つないで

第1196回例会報告

第2週 9月15日 (金)
 会場：マリエール高崎「ハンプトン」
 プログラム ゲスト卓話
 「児童養護施設支援の歩み・県内児童養護施設
 みらい奨学金について」
 パストガバナー森田高史 様

御来訪者/Visitor 4名
 パストガバナー (2019-2020年度ガバナー)
 森田 高史様 (伊勢崎 R C)



伊勢崎 R C 直前会長 関 徹也様



出 席 報 告	
会 員 数	46 名
出席計算人数	46 名
本日出席者	32 名
本日出席率	69.57%
先々週出席率	休 会

幹事報告/Secretary Report

- ・秋田豪雨災害支援金募金依頼 (募金箱回覧)
- ・神戸東灘 R C 週報
- ・万灯会灯籠御奉納御礼・ご祈祷札
- ・各クラブ例会変更
- ・高崎マーチングフェスティバルチラシ
- ・マウイ島支援についての R C W W、R I 日本事務局とのメール文書

委員会報告/Committee Report

ニコニコBOX/Donator Niconico Box

パストガバナー 森田 高史様 (小野垣会長様、本日はお招きありがとうございます。よろしくお願ひいたします)

土屋 貴洋君 (森田パストガバナー、関直前会長、中村さん来訪を祝して)

小野垣義男君 (")

高橋 正光君 (")

白石 隆夫君 (森田パストガバナーをお迎えして)

ビューエル芳子君 (無事メキシコから戻りました)

高柳 一成君 (森田 P G、奨学生中村さんをお迎えして)

西野 宏君 (")

横山 正男君 (")

林 章君 (")

島崎 真澄君 (")

ロータリー財団 B O X / Donator Rotary Foundation

三浦 敦朗君 白石 隆夫君 小野垣義男君
 島崎 真澄君 折田 慶太君



米山奨学会BOX / Donator Yoneyama Scholarship

長井 典夫君 柴崎 晟君 宮口 昌利君
 白石 隆夫君 小野垣義男君 島崎 真澄君
 折田 慶太君

留学帰国報告

グローバル補助金奨学生 中村 翔陽さん



次回例会予定

9月29日(金)は休会

10月6日(金)通常例会

プログラム

会長の日 小野垣義男会長

会員卓話 清水清美会員

rotary-homeと養育院 — 関東大震災百年 —



金子秀隆

一年ほど前にある委員会の中の雑談で井汲会長(当時)が「関東大震災の後に建てられたrotary-homeは具体的にどこにあったんだろう」と仰いました。丁度震災百年にもなるし調べてみると、養育院という施設に行き当たりました。少しこの事について述べてみます。

1783(天明3)年の浅間山噴火等により引き起こった天明の飢饉は、近世最大の飢饉でした。これにより松平定信が寛政の改革を行います。その中に七分積金という制度がありました。地主が自治費として納める町入用の無駄を節約し、浮いた費用の70%を積立てる制度です。

これで、町会所が備蓄米を準備したり、低利融資を行い会所の管理運営費を賄ったりしました。約百年後の明治維新の際の積立金は約170万両とも約140万円とも言われ、1872(明治5)年取扱いが江戸町会所から東京営繕会議所へ移り東京会議所と名称変更されました。

官費でない町民の「共有金」は、交通基盤・瓦斯燈・墓地・学校(商法講習所:現一橋大学)・養育院の整備に使われます。1878(明治11)年「共有金」の収益が地方税に移り東京府の所管となると、東京会議所は役目を終えて東京商法会議所(後の東京商工会議所)が出来ました。

養育院は1872(明治5)年旧加賀藩邸から浅草、

翌年上野移転。1879(明治12)年神田和泉町へ移転。委任経営となり1885(明治18)年本所長岡町転出。1890(明治23)年東京市移管、1896(明治29)年大塚辻町に本院が出来、関東大震災後板橋分院の隣地に移ります。

養育院は常に定員を超え対象者を分類した分院が必要になります。1900(明治33)年、結核を患った虚弱児の転地療養施設が安房勝山に安房分院として開院します。1909(明治42)年転居して結核以外の虚弱児も受け入れます。現在は東京都船形学園となっています。

安房分院開院と同じ年に感化部(非行少年の更生)が設置されます。1905(明治38)年皇室御料地が下賜され感化部を分離し井之頭学校となりました。1939(昭和14)年に東村山に転出、現在は萩山実務学校となっています。跡地は井の頭自然文化園です。

そして1909(明治42)年に「孤児院」として巣鴨分院が出来ます。ここにrotary-homeが造られます。1914(大正3)年には結核患者と長期療養者に板橋分院が出来ました。

これらの養育院事業を主導したのが渋沢栄一でした。渋沢は1874(明治7)年東京会議所「共有金」の管理を行うため頭取となります。委任経営時代には養育院慈善会を組織しその会費やバザーの収益で運営を助け、皇室の援助も得て市営の道筋が付きました。

1906(明治39)年院資増殖会を立ち上げ事業の安定化に務めました。1908(明治41)年には全国の慈善事業をまとめる中央慈善協力会の初代会長に推されます。養育院も初代院長として亡くなる1931(昭和6)年まで務めています。時も財も尽くした活動でした。養育院は、1999(平成11)年まで残り改組を経て東京都健康長寿医療センターとなりました。

巣鴨分院は真宗中学の跡地を嘉納治五郎が清国人留学生を教育する宏文学院として借り受けていました。この期限切れを受け同地を購入します。rotary-homeは年長女子寮として活用されました。1935(昭和10)年分院移転構想があがります。

1940(昭和15)年この地に第三東京市立中学校(都立文教高校)が設立されました。2年の同居の後1942(昭和17)年分院が石神井学園と改称移転した後、rotary-homeは東京市大塚生活補導館(主に卒業生をケアする施設)になり、戦災で焼失しました。